

IV-53

岩手県松尾村の風土イメージに関する調査研究

岩手大学 正 員 安藤 昭 岩手大学 正 員 赤谷 隆一
 岩手大学 正 員 佐々木栄洋 岩手大学 学生員 中居 伸明
 岩手大学 学生員○下斗米宏章

1. はじめに

平成10年4月以降活発化した岩手山の火山活動は、岩手山麓地域の農林業、観光業等の地域経済に多大な被害を及ぼし、地域住民は災害に対する不安を抱きながら生活している。中でも、八幡平国立公園が位置する松尾村は、雄大な自然が生み出す景観と高山植物や動物が豊富に存在することから、貴重な地域遺産（自然遺産・文化遺産・産業遺産）を有する地域として広く知られているが、火山活動の影響はこれらの地域遺産の存在を脅かすばかりでなく持続可能な地域社会の形成を妨げるものであり、持続可能な地域づくりの理論構築が必要とされている。

2. 研究の目的

本研究では、農村景観そのものが芸術作品となり得るような農村づくりを目指し、岩手県松尾村を対象にローカルイメージのキュービッックモデル¹⁾を適用し、多元的評価主体による風土イメージを明らかにすることを目的としている。

3. 松尾村の概要

岩手県松尾村は、人口7,195人（平成13年12月末日現在）、総面積233.48km²、岩手県岩手郡北西部に位置し、南に岩手山、西に八幡平を含む山々の連なる緑豊かな村であり、その恵まれた自然環境とそれを支える農業・観光業などの産業との調和が特色である。また昭和前期～昭和中期まで松尾鉱山が栄えたが、昭和44年に松尾鉱山事実上の閉山となってしまった。

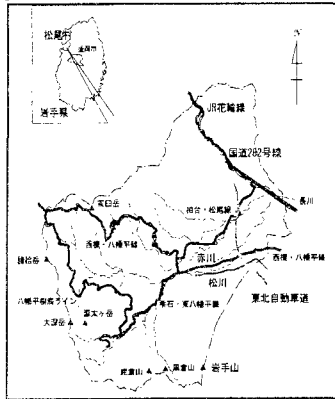


図1 調査対象地域

4. 調査の概要

本調査では、多元的評価主体により風土イメージを把握するため、被験者を「松尾村を生活の場としている人（以下、「住民」）」「松尾村に育ち現在は他地域で生活している人（以下、「転出者」）」「松尾村を訪れたことのある人（以下、「来訪者」）」の3主体とし、その結果を比較・考察した。

調査の内容は次の(1)～(3)の通りである。

- (1) 基礎調査 (2) 視覚的（空間的）イメージの把握
- ①言語記述法 ③景観写真の撮影
- ②メンタルマップ法④景観写真を用いた分類と評価に関する調査
- (3) コンテクスト系イメージの把握
- ⑤制限連想イメージ調査

①の言語記述法に関しては、同一被験者に調査を繰り返すデルファイ法を用い、被験者集団の意見の収斂をはかった。なお、本稿では3主体での基礎調査として、言語記述調査（1回目）の結果を報告する。

5. 調査の結果および考察

調査対象者の属性について表1に示す。

表1 調査対象者属性

調査名	評価主体	有効回答数		
		男	女	合計
言語記述調査 (1回目)	住民	125	52	177
	転出者	34	11	45
	来訪者	66	25	91

(1) イメージ再生数と再生順位について

言語記述調査で得られたイメージ再生要素数を表2に示す。住民、転出者、来訪者の3主体で再生率が高いものとして、「岩手山（住民63.64%；再生順位1位、転出者73.33%；再生順位1位、来訪者37.36%；4位）」、「八幡平（住民55.11%；2位、転出者51.11%；2位、来訪者48.35%；2位）」、「松尾鉱山（住民48.46%；4位、転出者51.11%；2位、来訪者59.34%；1位）」、「松川地熱発電所（住民34.09%；5位、転出者37.78%；4位、来訪者38.46%；3位）」が挙げられた。その他、それぞれの主体ごとに上位5位までに挙げられた要素は、住民が「山賊祭54.55%；3位」、転出者が「雪、松川33.33%；5位」等、来訪者が「アスピーテライン37.36%；4位」であった。

表2 イメージ要素の総再生数と

調査対象者	平均再生数	
	言語記述調査(1回目)	平均再生数
住民	2259(346種)	12.84
転出者	639(212種)	14.20
来訪者	796(140種)	8.75

次に、3主体で再生された要素のイメージ再生百分率（以下、再生率）を縦軸に、再生順位を横軸にとり、3主体イメージ再生順位図を作成した。これを図2に示す。

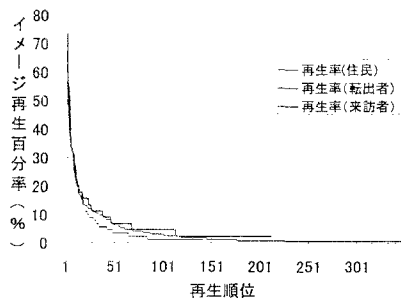


図2 住民・転出者・来訪者のイメージ再生順位図

ここで、対象地域のコア(核)になると考えられる再生率25%以上の要素をコア・エレメントと呼ぶものとする。また、12.5%以上の要素を地域のイメージ操作上の鍵と考えパブリック・キー・エレメント、6.25%以上の要素をパブリック・キー・エレメントに次いで大切にしなければならない要素という意味でセミ・パブリック・エレメントと呼ぶものとする。なお、再生率が6.25%未満の要素についてはパーソナル・エレメントと呼ぶものとする。

(2) 主体別の固有イメージについて

次に前述のように、3主体のいずれかにおいて再生率6.25%以上を示した要素（セミ・パブリック・エレメン

住民と転出者が共通に抱くイメージは、「郷土文化」「自然」の要素群であり、松尾村の風土文化に関する要素（金沢清水、湧水、歴史民俗資料館等）が挙げられている。一方、住民と来訪者が共通に抱くイメージは、「観光・レク施設」「交流施設」「都市施設」の要素群にまとめられ、そのほとんどが住民、来訪者によく利用されている施設である（スキー場、県民の森等）。また転出者と来訪者が共通に抱くイメージは、固有の場所ではない漠然とした自然のイメージ（田、寒い）しかなかった。そして、住民・転出者・来訪者の3者が共通に抱くイメージは、「自然」「産業」「交流施設」「観光・レク施設」などから構成されており、それらの要素のほとんどが有名な観光地や温泉となっている。以上より、松尾村の風土の特徴として、温泉、スキー場に留まらず、長者清水、金沢清水、湧水、トラウトガーデン、養鰻場等がイメージ再生されていることから、自然資源および産業資源としての水資源が松尾村の風土イメージの形成に大きくかかわっていることが明らかにされた。

再生農業	住民			転出者			来訪者			インバウンド客数 ※※※		
	順位	再生率(%)	順位	再生率(%)	順位	再生率(%)	順位	再生率(%)	住民だけ	転出者だけ	来訪者だけ	
岩手山	1	53.533	—	—	—	37.365	—	—	●	●	●	
八幡平	2	55.114	2	51.111	2	48.352	—	—	●	●	●	
山梨県	3	54.545	39	8.889	25	8.791	—	—	○	○	○	
松崎山	4	48.884	2	37.111	1	59.241	—	—	●	●	●	
松崎山地蔵堂	5	34.091	4	37.111	3	38.452	—	—	●	●	●	
松崎山温泉	6	32.386	7	31.111	6	31.868	—	—	●	●	●	
松崎山温泉	7	31.818	—	—	35	5.495	—	—	○	○	○	
金沢温泉	8	30.114	12	20.000	35	5.495	—	—	●	●	●	
松崎山温泉	9	27.841	47	6.667	10	20.879	—	—	●	●	●	
スキー場	10	76.705	—	—	10	20.879	—	—	●	●	●	
温泉	11	21.023	10	22.222	6	31.868	—	—	●	●	●	
温泉	12	18.750	8	24.333	—	—	—	—	●	●	●	
スキー場	13	17.045	27	11.111	4	37.363	—	—	●	●	●	
八幡平温泉郷	13	17.045	47	6.667	16	15.385	—	—	●	●	●	
さくら公園	15	16.477	114	2.222	43	4.396	—	—	●	●	●	
温泉	15	16.477	9	24.333	9	25.275	—	—	●	●	●	
安比高原	17	15.809	18	15.568	49	3.297	—	—	●	●	●	
柳井山	18	15.341	39	8.889	8	30.769	—	—	●	●	●	
長者大滝	19	13.636	—	—	35	5.495	—	—	●	●	●	
永川	20	13.068	14	17.778	12	19.780	—	—	●	●	●	
山の静けさ	20	13.068	—	—	49	3.297	—	—	○	○	○	
雪	20	13.068	5	33.333	16	15.385	—	—	●	●	●	
トラウトガーデン	23	12.500	47	6.667	14	18.681	—	—	●	●	●	
スキー場	24	11.932	14	17.778	23	9.880	—	—	●	●	●	
八幡平リゾートスキー場	24	11.932	—	—	20	10.889	—	—	●	●	●	
松崎山	24	11.932	5	33.333	23	9.880	—	—	○	○	○	
新島和島温泉施設	24	11.932	—	—	25	8.791	—	—	○	○	○	
松崎山温泉	28	11.364	—	—	12	19.780	—	—	●	●	●	
下倉スキー場	28	10.795	—	—	35	5.495	—	—	●	●	●	
八幡平国立公園	29	10.789	69	4.444	35	5.495	—	—	○	○	○	
八幡平スキー場	30	10.795	47	6.667	85	1.099	—	—	●	●	●	
八幡平スキー場	32	10.227	—	—	15	18.484	—	—	●	●	●	
自然	32	10.227	27	11.111	43	4.396	—	—	●	●	●	
温泉	35	9.859	47	6.667	18	12.088	—	—	●	●	●	
ペンション	35	9.859	—	—	25	8.791	—	—	●	●	●	
松崎山温泉	35	9.859	69	4.444	25	8.791	—	—	●	●	●	
温泉	39	9.091	114	2.222	85	1.099	—	—	●	●	●	
温泉	39	9.091	27	11.111	85	1.099	—	—	○	○	○	
温泉	39	9.091	114	2.222	85	1.099	—	—	○	○	○	
温泉	42	7.955	114	2.222	—	—	—	—	○	○	○	
温泉	42	7.955	14	17.778	30	7.692	—	—	○	○	○	
温泉	42	7.955	47	6.667	30	7.692	—	—	○	○	○	

○：イメージの高さにおいて他の2社に対して固有
●：イメージの低さにおいて他の2者に対して固有

1) 駒井拓也 (1997);『岩手県中山間地域における町のイメージ構造に関する研究』, 修士論文

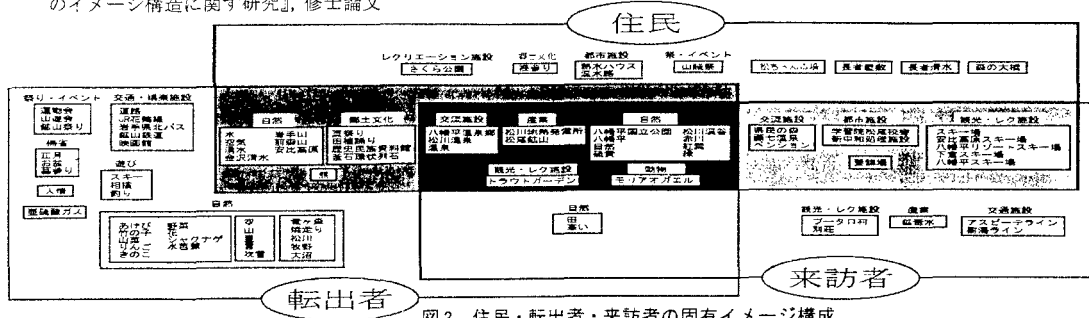


図3 住民・転出者・来訪者の固有イメージ構成